8団体・95人（重複含む）が受賞

第50回体育会表彰

第50回体育会表彰の受賞者が発表され、2010年度に行われた大会で優秀な成績を収めた団体・個人の中から、今年度は8団体・95人（重複含む）が選出された。

最優秀団体賞に選ばれたのはスピードスケート部。日本学生氷上競技選手権（氷上インカレ）で準優勝、関東学生スピードスケート選手権で4連覇を達成し、3年連続で同賞を受賞した。

個人では、ユニバーシアード冬季競技大会のノルディック複合・個人マススタートで金メダルを獲得した清水亜久里（商1・新井高）が最優秀選手賞と最優秀新人賞をダブル受賞した。

※表彰式および祝賀会は「東北地方太平洋沖地震」による諸事情のため中止となった。（小澤　幸希乃・経営2）

団体の部

優秀団体賞
▽剣道部（男子）
▽準硬式野球部
▽テニス部（女子）
敢闘団体賞
▽ローラースケート部

個人の部

優秀選手賞
岩永　美里（水泳）
清水亜久里（スキー）
育友会賞
最優秀新人賞

殊勲選手賞
渡邊久瑠美（スキー）
宮本　浩光（〃）
望月　崇之（〃）
坂井　洸太（スピード）
上原康士朗（フェンシング）
鈴木　聖二（レスリング）
大用　真郷（〃）
半田　守（〃）
竹田　展大（〃）
馬場　貴大（〃）
星　達也（アーチェリー）
川田　展行（準硬式野球）
高久　彩（水泳）
高澤　伸（スキー）
丸子由里香（〃）
清水　香帆（〃）
黒沢紗也香（〃）
下平　悠生（〃）
栗山　雄大（〃）
新斗米美咲（〃）
山越　竜輔（スピード）
蓑田　翔（〃）
土井　優斗（〃）
松尾　駿（〃）
武井　博史（〃）
大塚　樹（〃）
小林　拓斗（〃）
花岡　宏大（〃）
小池　辰彦（相撲）
蒲田　勝太（〃）
和田　恭平（漕艇）
菊地　純一（〃）
細矢　研人（〃）
三浦　翔太（〃）
高　瑜璐（卓球）
天野　友未（〃）
原　ちひろ（〃）
重藤真知子（テニス）
難波沙樹子（〃）
鬱林　舞（馬術）
植田　俊輔（〃）
藤岡恵美衣（バスケット）
田村　千秋（バドミントン）
佐賀　美咲（フェンシング）
五十嵐祐太（陸上競技）
岩間　奨平（レスリング）
間瀬　雄介（〃）
萩原　健汰（〃）
中村　裕貴（〃）
敢闘選手賞
加藤　脩平（アーチェリー）
庄司　祐也（剣道）
鈴木　雄大（〃）
藤本　修司（サッカー）
庄司　悦大（〃）
牧野　翔太（準硬式野球）
相馬　一輝（〃）
坂東龍一郎（〃）
石川竜太郎（〃）
児島　祐（〃）
杉浦　泰章（〃）
篠原　成道（〃）
宇都　直輝（バスケット）
山田　真央（バドミントン）
栗山　雅史（バレーボール）
端場　翔太（〃）
谷口舜太郎（フェンシング）
矢吹　健（ローラー）
新人賞
高久　彩（水泳）
新斗米美咲（スキー）
花岡　宏大（スピード）
細矢　研人（漕艇）
三浦　翔太（〃）
宇都　直輝（バスケット）
山田　真央（バドミントン）
上原康士朗（フェンシング）
竹田　展大（レスリング）
馬場　貴大（〃）
功労賞
泉　武夫氏（フェンシング部前部長）
恒次　勝利氏（剣道部前監督）
大和田智子氏（フェンシング部前監督）
江崎　久氏（野球部前監督）
学生功労賞
高井　祐人（体育会本部前委員長・準硬式野球）
馬場　雄也（体育会本部情宣局前編集長）
山越　竜輔（最優秀団体賞主務・スピード）
齋藤　光雪（合気道）
池田　慎伍（弓道）
松林　理央（剣道）
矢邊友里恵（バドミントン）
中司　大地（バレーボール）
藤原　大樹（フェンシング）
五十嵐龍太（野球）
井手段千聖（ラグビー）
感謝状
▽学生自治会
▽全学応援団
※学生は敬称略。カッコ内は部名。スピード＝スピードスケート、バスケット＝バスケットボール、ローラー＝ローラースケートの略。

最優秀団体賞　校友会賞

スピードスケート部

▽日本学生氷上競技選手権（スピードスケート部門）＝準優勝
▽関東学生スピードスケート選手権＝優勝

▲　関東学生選手権で活躍したメンバーたち

部員一人ひとりが努力を積み重ねる

坂井　洸太主将（経営3・白樺学園高）

今年こそは氷上インカレ優勝を果たし、気持ちよく最優秀団体賞を取りたかったです。今シーズンは調子の良い選手とそうでない選手がはっきりしていましたが、部員一人ひとりが精一杯力を出し、その積み重ねた結果が評価されたのだと思います。来年度こそ、インカレで優勝して最優秀団体賞を受賞できるように頑張っていきます。

清水亜久里（スキー部）

最優秀選手賞
育友会賞
最優秀新人賞

▽ユニバーシアード冬季競技大会（2011／エルズルム）【フルディック複合】個人マススタート（NH／マススタート）＝優勝、個人グンダーセン（K95／10㎞）＝8位、団体（チームK95／3×5㎞）＝5位
▽全日本スキー選手権・ノルディック複合競技＝2位
▽清水選手の話
各賞を受賞でき、とてもうれしいです。大学という新しい環境の中で、自分の考えを競技に生かせるようになりました。特にユニバーシアードでは、自分らしいジャンプができたと思います。来シーズンも、目標をしっかりと持って、周りに流されずに、信念を貫き通して頑張っていきます。

▲　今シーズン大活躍の清水

水泳・日本短水路選手権

岩永が800㍍自で優勝

日本短水路選手権競泳競技大会が2月26、27の両日、東京辰巳国際水泳場で開催され、女子800㍍自由形で岩永美里（経営2・八王子高）＝写真＝が8分26秒79で初優勝した。

4位だった昨年の同大会に比べ、3秒近くタイムを短縮。また同400㍍でも4位と、着実に実力をつけている。「インフルエンザから回復した後の大会だったがリラックスして泳げた。次の国際大会代表選手選考会でも1位を狙います」と話した。（小澤）

スキー・全日本学生選手権

男子スーパー大回転　宮本優勝

学校対抗は男女とも4位

▲　優勝した宮本（写真は回転競技）

全日本学生スキー選手権が2月18日から24日まで、秋田県鹿角市の花輪スキー場で行われ、アルペンの男子スーパー大回転で宮本浩光（法2・飯山南高）が優勝した。

「11月の海外遠征で充実した練習ができ、準備は万端だった」と昨年からの成長の理由を明かした。また、「常に自己最高ポイントを目指し、今後も頑張っていきたい」と意欲を語った。

また女子では、アルペンの回転で丸子由里香（経営4・北照高）が3位、クロスカントリーの3×5㌔リレーで黒沢紗也香（経済2・十和田高）・下平悠生（経営2・飯山南高）・新斗米美咲（人間科学1・花輪高）組が3位に入賞した。

なお、総合成績を競う団体の学校対抗では男女とも4位に終わった。

※主な入賞者
▽男子【フルディックコンバインド5㌔】清水亜久里＝4位【同10㌔】清水＝4位【クロスカントリー10㌔フリー】望月崇之（経営2・八海高）＝5位【スペシャルジャンプ】清水＝5位【同団体】穂苅雄一（経営1・八海高）・佐々木誉志希（経営1・花輪高）・清水＝6位▽女子【スペシャルジャンプ】笛木美沙（文1・八海高）＝4位（小澤）

Jリーガー4選手誕生

今春、サッカー部を巣立つ4選手がJリーグの各クラブチームに入団することが決定した。

▲　4人の今後の活躍に期待（写真は小幡。撮影＝大坪）

4年間、最多出場でチームを支えてきたDF藤本修司（法4・駿台学園高）がジェフユナイテッド市原・千葉へ。攻撃陣の中心となり、活躍してきたFW神村奨（ネット情報4・相武台高）、MF小幡純平（商4・國學院久我山高）はそろって水戸ホーリーホックへ。神村と並び、昨季2部リーグ最多得点を記録したFW高山薫（経営4・生田東高）は湘南ベルマーレと、それぞれ契約を結んだ。

昨シーズンはすばらしい活躍で2部優勝、1部昇格へとチームを導き、観客を楽しませてくれた4人。今シーズン、Jリーグの舞台では専力サッカー部で培った実力を大いに発揮してほしい。（渡邊　綾佳・ネット情報1）

専大スポーツ

No.300

大会結果、予定は体育会ホームページ（専大ホームページ「スポーツ」からログイン）でご確認ください
専大スポーツweb（http://sensupo.web.fc2.com/）でも大会結果を配信しています